

MEDIACIÓ ORAL B2 JAPONÈS

あなたたちは小学六年生(11歳)の教師です。先週の保護者(両親)との会議で、親から子供がスマホを見る時間が長い、という相談を受けました。小学校では禁止されていますが、それ以外で使う時間が長いようです。子供がスマホ依存症(スマホを使っている時間が長すぎる、スマホがないと不安になる)にならないように、どのように保護者にアドバイスすればいいか、下のテキストを読んで三人で話し合い、二つの決まりを作りなさい。

テキストを読む時間:7~8分

三人での話し合いの時間:8~10分

A 話し合いが大切

スマホを触っていないと落ち着かず、いつも気になっている。これは「スマホ依存症」です。スマホ依存症になると、勉強への集中力がつかず、学力が低下してしまいます。また、コミュニケーションの能力も低下し、人間関係も悪化します。SNSやメールなど、ネットを通じたコミュニケーションが主になり、実際の生活で人と接することが少なくなり、だんだん面倒になるのです。こういうスマホ依存症を治すためには、少しずつスマホの使用時間を減らしていくことが大切です。例えば、食事中はスマホをそばに置かない、夜8時以降は使わない、ベッドの中で見ない、など、できることから始めましょう。そして何より大切なことは、子供がスマホで何をしているのか、親がちゃんと知っていなければならない、ということです。スマホにはよい部分も悪い部分もあります。子供が上手にスマホを使えるように、親は子供と一緒に考えて教えていくことが大切です。

<https://www.eagle-inc.jp/kids-smartphone/student-kidssmartphone-best-parent-and-child-rulrs/>

<http://smamori.jp/jp/article/473>

EXPRESSION ORAL B2 JAPONÈS

PART-1 一人ずつ(一人1分)

「スマホと^{いぞんしょう}依存症」に関する自分、または誰かの体験を話さない。

PART-2 「スマホと^{いぞんしょう}依存症」について三人で会話をしなさい。(12分程度)

- ・ あなたはスマホをよく使いますか。どんなことに使いますか。一日に何時間ぐらいですか。
- ・ スマホとはどういうものだと思いますか。スマホで何ができますか。
- ・ スマホのいい点はどんなところでしょう。悪い点はどうでしょうか。どんな点が便利ですか。^{きけんせい}危険性があると思いますか。どんな点ですか。
- ・ あなたはスマホ^{いぞんしょう}依存症ですか。^{いぞんしょう}依存症の人を知っていますか。^{しょうじょう}どんな症状ですか。^{きけん}危険なことがありますか。どんなことですか。
- ・ あなたはスマホなしで生活できると思いますか。なぜですか。
- ・ ^{さい}何歳ぐらいから子供にスマホを持たせたらいいと思いますか。あなたはどうでしたか。
- ・ ^{さい}何歳ごろからインターネットを使い始めましたか。子供の^{ころ}頃にはインターネットでどんなことをしましたか。あなたが親ならどうしますか。

MEDIACIÓ ORAL B2 JAPONÈS

あなたたちは小学六年生(11歳)の教師です。先週の保護者(両親)との会議で、親から子供がスマホを見る時間が長い、という相談を受けました。小学校では禁止されていますが、それ以外で使う時間が長いようです。子供がスマホ依存症(スマホを使っている時間が長すぎる、スマホがないと不安になる)にならないように、どのように保護者にアドバイスすればいいか、下のテキストを読んで三人で話し合い、二つの決まりを作りなさい。

テキストを読む時間:7~8分

三人での話し合いの時間:8~10分

B 親がきちんと理解してから使わせる

スマホ利用にはさまざまな危険がある。「家にいる間はずっと使っている」「一日何時間も使っていて心配」という保護者(親)からの相談はとても多い。スマホを利用する時間が長くなると、子どもの睡眠時間や学習時間は減る傾向にある。スマホを使う際には、家族みんなでルールをしっかりと決めておかななくてはならない。たとえば何時まで使えるか、一日にどのくらい使っているか、ゲームにお金を使わない、他人をきずつけることは書かない、など。また、何より大切なことは、困ったことやトラブルがあったら必ず親に相談することだ。

また、最近の小学生はスマホ以外に、ゲーム機や学習用タブレット、音楽プレイヤーでもネットを利用できる。設定のしかたによってはLINEやTwitter、YouTube、Facebookなどが使えることもあるので、親がきちんと理解してから子供に使わせるべきだ。

スマホは誘惑が多くて子どもだけではセルフコントロールが難しい。保護者がしっかり管理することが重要だ。

EXPRESSION ORAL B2 JAPONÈS

PART-1 一人ずつ(一人1分)

「スマホと^{いぞんしょう}依存症」に関する自分、または誰かの体験を話さない。

PART-2 「スマホと^{いぞんしょう}依存症」について三人で会話をしなさい。(12分程度)

- ・ あなたはスマホをよく使いますか。どんなことに使いますか。一日に何時間ぐらいですか。
- ・ スマホとはどういうものだと思いますか。スマホで何ができますか。
- ・ スマホのいい点はどんなところでしょう。悪い点はどうでしょうか。どんな点が便利ですか。^{きけんせい}危険性があると思いますか。どんな点ですか。
- ・ あなたはスマホ^{いぞんしょう}依存症ですか。^{いぞんしょう}依存症の人を知っていますか。^{しょうじょう}どんな症状ですか。
^{きけん}危険なことがありますか。どんなことですか。
- ・ あなたはスマホなしで生活できると思いますか。なぜですか。
- ・ ^{さい}何歳ぐらいから子供にスマホを持たせたらいいと思いますか。あなたはどうでしたか。
- ・ ^{さい}何歳ごろからインターネットを使い始めましたか。子供の^{ころ}頃にはインターネットでどんなことをしましたか。あなたが親ならどうしますか。

MEDIACIÓ ORAL B2 JAPONÈS

あなたたちは小学六年生(11歳)の教師です。先週の保護者(両親)との会議で、親から子供がスマホを見る時間が長い、という相談を受けました。小学校では禁止されていますが、それ以外で使う時間が長いようです。子供がスマホ依存症(スマホを使っている時間が長すぎる、スマホがないと不安になる)にならないように、どのように保護者にアドバイスすればいいか、下のテキストを読んで三人で話し合い、二つの決まりを作りなさい。

テキストを読む時間:7~8分

三人での話し合いの時間:8~10分

C 細かいルールの見直しを

もしあなたの子供がスマホ依存症になりそうと思ったら、家庭で決めたルールをもう一度見直してください。一日のスケジュールを決めて、その中でスマホを使う時間を決めるといいでしょう。アプリごとに時間設定をすることもできます。また、食事中やお風呂では絶対にスマホに触らない、など、親子で一緒に細かいルールを作らなければなりません。

スマホやインターネットは将来も必要で、勉強、仕事、生活で使われる道具です。その利用ルールを考えることは、自分自身の大切な時間の使い方について考えることになります。親子で十分に話し合い、一緒にルールを作るのが一番。そして、そのルールを守れなかった時にはどうするか、そういうことも話し合っておきましょう。スマホの使い過ぎやネット依存にならないために、利用時間を制限できる機能やアプリもあります。親は子供が自己管理しやすい環境を作ってあげるべきです。

<https://www.tokyohelpdesk.metro.tokyo.lg.jp/consult/jirei/izon.html>

東京都都民安全推進本部

EXPRESSION ORAL B2 JAPONÈS

PART-1 一人ずつ(一人1分)

「スマホと^{いぞんしょう}依存症」に関する自分、または誰かの体験を話さない。

PART-2 「スマホと^{いぞんしょう}依存症」について三人で会話をしなさい。(12分程度)

- ・ あなたはスマホをよく使いますか。どんなことに使いますか。一日に何時間ぐらいですか。
- ・ スマホとはどういうものだと思いますか。スマホで何ができますか。
- ・ スマホのいい点はどんなところでしょう。悪い点はどうでしょうか。どんな点が便利ですか。^{きけんせい}危険性があると思いますか。どんな点ですか。
- ・ あなたはスマホ^{いぞんしょう}依存症ですか。^{いぞんしょう}依存症の人を知っていますか。^{しょうじょう}どんな症状ですか。
^{きけん}危険なことがありますか。どんなことですか。
- ・ あなたはスマホなしで生活できると思いますか。なぜですか。
- ・ ^{さい}何歳ぐらいから子供にスマホを持たせたらいいと思いますか。あなたはどうでしたか。
- ・ ^{さい}何歳ごろからインターネットを使い始めましたか。子供の^{ころ}頃にはインターネットでどんなことをしましたか。あなたが親ならどうしますか。